

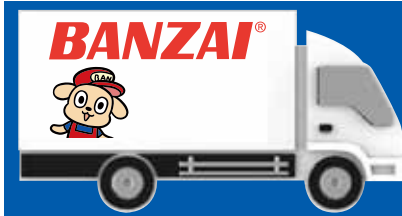
バンザイ出展ブース  
D-12です。

整備機器に  
見て・触れて



先進運転支援システムの整備に関わる効率化機器や  
車両コーティング・車内清掃機器など様々な美装関連商品をご提案します

2024年 5月 9日(木)・10日(金)・11日(土) 会場:パシフィコ横浜  
10:00▶18:00(11日のみ17:00まで)



5月11日(土)は  
お子様イベントも  
実施されます。  
ご来場を心よりお待ちしております!

WEB登録で入場無料!  
(事前来場登録)  
<https://truck-show.jp/>  
①公式サイトへアクセス。  
②【事前来場登録】より  
必要事項をご入力してください。  
③申込完了はメールにてお知らせ。  
※プリントアウトのご持参でスムーズに入場できます。



BANZAI 株式会社 バンザイ

<https://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigy@banzai.co.jp

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171

東京支店  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6840

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡  
郡山・山形・新潟・長野  
前橋・宇都宮・水戸・埼玉  
千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸  
高松・宮崎・鹿児島

営業部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6881

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221

名古屋支店  
名古屋市千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・山陰・長崎  
大分・熊本  
●販売会社 バンザイ沖縄販売(株)

海外販売部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6894

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700

大阪支店  
大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041



ISO9001 認証取得  
ISO14001 認証取得  
バンザイは、SDGs を推進する  
日本ユネスコ協会連盟の維持  
会員として支援しています。

# BANZAI NEWS

2024  
Spring  
330

特集  
BANZAI NEWS

法令“厳守”の仕組み作りを  
業務効率・収益向上のチャンスに





国立市の大学通りの桜並木 東京都

東京西部・国立駅からまっすぐ南へと続く大学通り、その先から東西に伸びるさくら通りの両側に、約360本の桜が植樹され、桜の並木道をつくっている。春には満開の桜が咲き誇り、地元のシンボルとして多くの人に親しまれている並木道。

### ★歳時記

- 4月 18日 発明の日
- 29日 昭和の日
- 5月 3日 憲法記念日
- 4日 みどりの日
- 5日 こどもの日
- 9日～11日 ジャバントラックショー 2024
- 6月 5日 環境の日
- 10日 時の記念日
- 21日 夏至



### ●目次

#### ★特集

- ピンチをチャンスにし
- 収益も信頼も得られるサービスショップとなるには?..... ①
- 【第1回】法令“厳守”の仕組み作りを業務効率・収益向上のチャンスに

#### ★モデルショップ訪問

- 【埼玉トヨペット株式会社 南越谷支店】..... ⑥
- 発展する首都圏近郊エリアを市場に  
新たな店舗・サービス戦略を展開
- 【栃木日野自動車株式会社 鹿沼営業所】..... ⑧
- 栃木県北西部の地域産業をサポートする  
大型車販売・サービスの最新拠点を開設
- 【株式会社キムラ 第2工場・第3工場】..... ⑩
- 特殊車両整備に「人」の働く環境づくり  
画期的な「テント構造」の新工場を完成

#### ★ショールーム..... ⑫

#### ★TOPICS AMR2024出張レポート..... ⑬

# 特集

BANZAI NEWS

## ピンチをチャンスにし収益も信頼も得られるサービスショップとなるには?

### 第1回 法令“厳守”の仕組み作りを業務効率・収益向上のチャンスに

2021年頃より不正車検が相次いで発覚し、指定・認証取消や検査員解任などの厳しい行政処分が相次いだのもつかの間。2023年には大手中古車販売店による組織的な不正車検や保険金水増し請求をはじめとした数多くの不法行為、さらにはカーメーカーや大手部品メーカーによる認証不正も大きな注目を集めました。その結果いま、アフターマーケットのみならず自動車業界全体に対し、カーオーナーから厳しい視線が注がれており、信頼回復が急務となっています。

当新連載「ピンチをチャンスにし収益も信頼も得られるサービスショップとなるには?」、1回目の今回は、法令“厳守”の仕組みを作ることによってカーオーナーからの信頼を回復するのみならず、それらの取り組みを業務効率・収益向上にどう活かすかを、考えていきたいと思えます。



## 自動車業界全体で相次いだ 法令違反。カーオーナーから 失った信頼を取り戻すには？

車には、乗り手自らの意思で時を問わず自由に移動できるという、他の乗り物には少ない大きな魅力があります。そのため、とりわけ公共交通機関が少ない地域では毎日の生活の足として欠かせないものであり、同時に直接間接を問わず人生を充実させる“愛車”、趣味のアイテムとしても大切なものです。

その一方で、走行中に発生する排ガスや騒音、粉じんなどは環境破壊の原因となるうえ、ひとたび交通事故が発生すれば人の命や健康を奪い、関係者の人生をも破壊する、凶器となりうる存在でもあります。

だからこそ、サービスショップの皆様が日々汗水流して行っている車の整備・修理が、そうした負の側面を少しでも抑えるために極めて重要な意義を持つことは、本来ならば取って言うまでもないことでしょう。

しかしながら、その本質が忘れ去られたかのよう

な、(一部)検査の未実施や検査結果の改ざんといった、指定工場での不正車検、またはカーメーカーや大手部品メーカーによる認証不正が相次いで発覚しました。また、カーオーナーの大切な“愛車”を故意に傷つけるなどにより整備・修理費や保険金を水増し請求するといった、一部の大手中古車販売店による不法行為も大きな注目を集めました。

ではなぜこのような不祥事が近年、相次いで発生したのでしょうか。その原因は大半の事例で、経営者・管理職と現場とのコミュニケーション不足、そして現場への過大な負荷に集約されます。

経営者・管理職が現場の実態を省みず、あるいは把握せずに達成困難な納期・収益・台数・件数などの目標を現場に課す、あるいは現場のリソース不足を把握しながら有効な手立てを講じ(ることができ)ないといった状態が慢性化した結果、現場スタッフが経営者・管理職への正確な報告・連絡・相談を諦め不法行為に手を染めていったケースや、目標達成のため経営者や管理職が現場スタッフに不法行為を事実上強要したケースもあったようです。

こうした事件が相次いで発生したことにより、いま自動車業界、とりわけアフターマーケットは、強い不信感をカーオーナーに抱かれていると言っても、決して過言ではないでしょう。そしてその信頼を完全に回復するのは決して容易ではないものの、一歩ずつ着実に努力と成果を積み重ねていく必要に、業界全体が迫られています。

そのためにすべきことですが、一番は不法行為の原因を根本的に取り除くこと、つまり現場の実態に見合った目標を立てること、経営者・管理職と現場スタッフとの間でコミュニケーションの風通しを良くすること、この二つに尽きます。

とはいえこうした組織改革は、目に見える成果が一朝一夕に出るものではありません。したがって、まずは、不法行為を未然に防ぐ仕組み作りが、法令を“遵守”(決められたことに従い守ること)するのではなく“厳守”(決められたことを厳しく必ず守ること)するうえでも不可欠になります。

## 入庫車両チェックや車検 業務の一部自動化で作業 効率を高めつつ法令“厳守”

そこで求められるのが、車両が入庫してから点検・整備・修理し納車するまで、つまりサービスショップの皆様がお預かりしている間の全ての時間において、車両がどのような状態にあり、どのような作業を行い、その結果車両がどのような状態に変化したかを明らかにする、エビデンス(証拠)とトレーサビリティ(追跡可能性)の確保です。とりわけ半日以上お預かりする

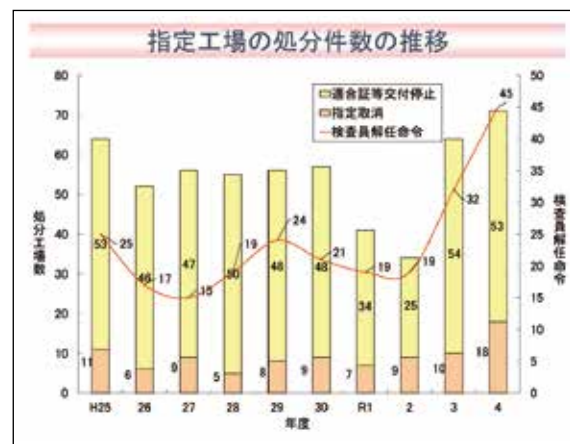
場合、入庫時の車両の状態を写真やチェックリストなどで記録しカーオーナーと共有することは、カーオーナー主導によるトラブルを未然に防ぐ観点からも重要になります。

しかしながら、こうした作業をいらずに増やすことは、入庫台数が多いサービスショップほど非現実的なうえ、かえって業務過多を遠因とした法令違反を招きかねません。よって、これらのチェック作業を、現場スタッフはもちろんカーオーナーにも手間や時間をかけさせないよう、可能な限り自動化するのがベストです。

例えば「ナンバープレート認識AIシステム Welcome AIナビゲーションシステム」でカーオーナーの来店履歴を記録しつつ、「イーリートレッド+カム」でタイヤの残溝などに問題がないかを確認・記録。「検査業務効率化システム ネットワーク9200Pro」のオプション「車両画像管理システム フォトサーバー2」で入庫直後と納車前に4台以上の固定カメラで車両の前後左右を撮影すれば、入庫時点で外装のどの場所に傷があったかなども後で確認できるようになります。

そして車検の際は「検査業務効率化システム ネットワーク9200Pro」を最大限活用。オプションの「車検証情報自動読取り機能」や「自検協連携・車検証情報紹介ソフト」で検査前に車両情報を自動入力すれば、モコンで個々に測定項目を選択する必要が不要に。標準の「記録簿検査結果自動印字」「記録簿点検箇所印字」機能を用いれば、検査結果などをミスなく効率良く記入することが可能になります。

また、不正処理の防止や検査機器の能力以上の



2013～2022年度の指定工場処分件数推移  
(出典:国土交通省)



2013～2022年度の指定工場の主な違反内容の推移  
(出典:国土交通省)

車両検査未然防止、未入力項目のチェックなど、各種コンプライアンス機能も充実しているため、故意はもちろんヒューマンエラーによる不正車検の防止にも大きな効果を発揮します。

そのほか、「トリプルテスター」に後付けも可能なオプションとして「サイドスリップセーフティロック」も設定。サイドスリップの検査ごとに行う踏板ロックピンのロック／フリー作業を手動で行わずエアシリンダーで自動ロックを行い、リモコン操作でロックを解除して検査する仕組みのため、作業効率を高めつつロックピンの取り外し忘れによる検査ミスを防ぐことが可能になります。

これら機器の詳細な機能やラインアップ、有効活用法については、バンザイ営業スタッフへぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

## リフト・整備機器事故も重大な法令違反。未然に防ぐにはまず正しい取り扱いと日々の点検を

サービスショップの皆様にとって法令違反のリスクとなり得るのは、道路運送車両法に基づく車検・点検や整備・修理ではありません。整備・修理機器



写真の測定ユニットの上を通過するだけでタイヤの残溝を自動計測できる「イージートレッド」

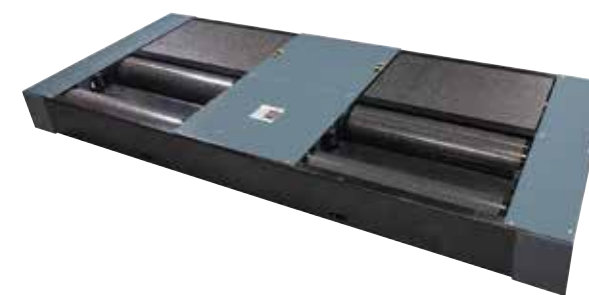
の取扱不良や点検不履行などによる事故もまた、労働安全衛生法の違反となります。そして最悪の場合は、大切な現場スタッフの命を失う死亡事故につながります。

日本自動車機械工具協会が実施しているリフト・整備機器事故統計によれば、2013～2022年の過去10年間ではリフト事故こそ減少傾向にあるものの、門型洗車機は設置台数の増加に伴い事故件数も増加。また近年はタイヤチェンジャーの取扱不良やスキャンツールのバッテリー不良による事故も発生するようになっています。

このうちリフトと門型洗車機に関しては、取扱不良と点検不履行が事故原因の大勢を占めており、正しい取り扱い方法を“厳守”し日々の点検を着実に履行していれば防げた事故に他なりません。そしてこれらの重要性は、現場のメカニックのみならずサービス



「検査業務効率化システム ネットワーク9200Pro」(左)とオプション「車両画像管理システム フォトセーバー-2」での写真撮影イメージ(右)



ショップの経営者と管理職も、お互いに深く認識する必要があります。

具体的には、整備機器の取り扱いおよび日常点検の方法に関する研修を定期的実施するほか、整備機器のメンテナンスパックに加入、もしくは整備機器の定期的な点検・整備を確実に実施する体制を整えることが肝要です。また、転落防止装置を備えたピットなど、より安全性の高い整備機器を積極的に選ぶことも、リフト・整備機器事故の未然防止に効果的です。これらについてもバンザイ営業スタッフへお気軽にご相談下さい。

今回は「人財“確保”から“尊重”へ」をテーマとして、人財“尊重”のお店作りを持続可能性向上のチャンスに活かす方策について考えたいと思います。



「トリプルテスター」(左)とオプション「サイドスリップセーフティロック」による踏板ロック時のデジタルメーター(中央)／グラフィックメーター(右)画面イメージ



リフトアップ時も床面をフラットな状態に保つ「イーグルアドバンスリフト」



リフトに用いられる受けゴム・チェーン・作動油の新品と劣化品、被膜が裂けたリール。バンザイでは劣化が写真の状態まで進むより前に新品・良品へ交換することを推奨している



※1件の事故に複数の原因がある場合は、重複して計上しています。

2013～2022年のリフト事故件数および事故原因の推移(出典:日本自動車機械工具協会)

# 発展する首都圏近郊エリアを市場に 新たな店舗・サービス戦略を展開

埼玉県内に新車店舗として46拠点を展開する埼玉トヨペット株式会社では昨年、新店舗「南越谷支店」をグランドオープン。首都圏近郊の中核都市として発展する越谷市の南部を中心とするエリアで、最新の販売・サービス体制を実現しています。



木目調のカラーリングを配した同社の新店舗デザインを採用。



エントランスと広くゆったりとしたショールーム。



店舗奥に立体の中古車展示場も併設。

## 発展する地域市場をターゲットに

JR武蔵野線と東武伊勢崎線の交差する南越谷、新越谷駅から直近の新店舗は、住宅地と準工業地域の境にある好立地。幹線県道に面した1680坪の敷地には店舗、サービス工場と立体的なU-Car展示場を併設しています。

南越谷支店は従来の草加支店を約5キロ北へ移転し、新たに開設した。同社の新店舗デザインを導入し、木目調の壁面をアレンジした明るいイメージの外観となっています。周辺にはマンションの建設も進み、若い年齢のファミリー層も増加している地域です。そのため「越谷市の南部を中心としたエリアへの出店が、以前から望まれていました」と支店長の村田雅和氏。首都近郊のベッドタウンとして発展する地域として、将来的な市場展望を踏まえての店舗戦略といえるでしょう。



南越谷支店 支店長  
村田 雅和 氏



南越谷支店 サービスマネージャー  
金子 円郎 氏

## 安全性を最優先した設計・レイアウト

サービス工場は8ストールに検査ラインおよび洗車場を併設。車検整備ストールにはイーグルNXリフトを4基、一般整備にタンデムリフトを2基、アライメントストールにフラットワークステージリフトを1基、また小型トラック・バス整備用にネオパスカルリフトを1基それぞれ設備し、幅広い車種、整備メニューに対応しています。

設計にあたっては「第一に工場内を一方通行のレイアウトにしたこと」とサービスマネージャーの金子円郎氏。サービスの流れをスムーズにすると同時に、安全性を優先した設計コンセプトとなっています。サービスストールも余裕を持たせた広さとし、とくに車検整備ストールは前方スペースを広く取り、安全で効率的な作業空間としています。カーポートに設置した門型洗車機も、洗車後は後退せずに拭き上げスペースに移動できるよう通り抜けとし、洗車作業の効率アップと安全性向上を図っています。



点検・車検整備ストールにはイーグルNXリフトを設備。



検査ラインにはネットワークシステムを導入。エイミングにも対応。



一般整備ストールにはタンデムリフトを設備。ワイド仕様で重整備にも対応。

アライメントストールにはフラットワークステージ、ジオライナーを導入。



工場入口のストールにはネオパスカルリフトを設備、小型トラック・バス整備に対応。



門型洗車機は通り抜けとしてスムーズな洗車作業を実現。



洗車後はそのまま拭き上げ作業場へ。

## 居心地の良さ、安心感あるサービスを提供

環境面では工場入口・出口にスピードシャッターを設備し、全館冷暖房による快適な作業環境を実現しています。また点検の結果を踏まえて、お客様へのタイムリーな説明とサービス提案を行えるよう、ラウンジからサービスストールへの通路を設定、お客様にサービスの様子をご覧いただき、安心感あるサービスの提供を可能としています。

ショールーム入口のフロントにはトヨタレンタカーのカウンターも併設し、レンタカーやカーシェアリングにも対応。また商談コーナーの奥には落ち着いたラウンジも設けられ、サービス待合のお客様にも配慮しています。

「旧草加支店のお客様にはちよっと遠くなったのですが、居心地の良いラウンジを設けたことで、大変ご好評をいただいています」とのこと。オープン以来のお客様の反応にも大きな手ごたえを感じられているそうです。



フロントにはトヨタレンタカーのカウンターも併設。



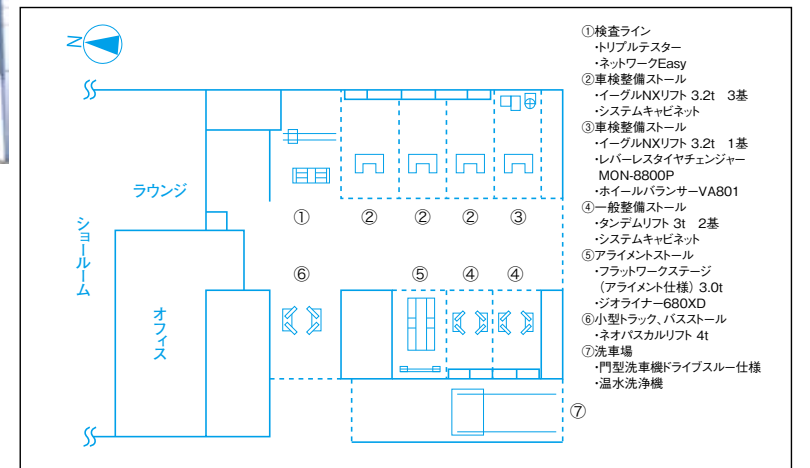
ショールームは明るく居心地の良い空間に。



ショールーム奥には商談コーナー、キッズコーナーも。



サービス待ちのお客様もラウンジでゆったり。



# 栃木県北西部の地域産業をサポートする 大型車販売・サービスの最新拠点を開設

栃木県宇都宮市に本社を置く栃木日野自動車株式会社では昨年、6番目の拠点となる鹿沼営業所を開設。これまで拠点のなかった県北西部をカバーする新たな営業所の完成により、広く県内を網羅する販売・サービス体制を構築しています。



鹿沼から日光方面をエリアとしてトータルサポート体制を実現。



受付、検査ライン、車検整備ストールまで、通り抜けとして一方通行に。



車検整備2ストール、一般整備4ストールに最新設備を導入。



通り抜けのキャノピーからフロントへ、受付もスムーズに。



地場特産の「鹿沼組子」を窓にアレンジ。もスムーズに。



営業部長 兼 鹿沼営業所 所長  
大森 友司 氏



鹿沼営業所 工場長  
設楽 祥久 氏

## 新拠点で地域顧客の利便性向上へ

新拠点、鹿沼営業所は宇都宮市内の国道121号線から鹿沼、日光方面へ向かう幹線道路「さつき大通り」に面して、東北自動車道の鹿沼ICからも5分というアクセスの良さに加え、工業団地や物流拠点が集中する県北西部をカバーする大型車サービスの拠点として、まさに最適な立地です。

従来同社では、県の北西エリアは宇都宮の本社がカバーしていたとことで、「この地域への拠点開設は宿願でした」と、営業部長兼鹿沼営業所長の 大森友司氏。

地域の特性として「木工を地場産業として、比較的中・小型トラックの需要が高い地域性です」と、地域におけるお客様の利便性向上、サービスサポート体制の強化に加えて、今後の市場性にも期待がかけられています。

## 安全で効率的なサービス環境を構築

サービス工場は6ストールと検査ラインからなり、車検整備2ストールには4柱キャタピラツインIIを2基、また一般整備4ストールには2分割フロアリフトを2基、2柱キャタピラツインIIを2基導入し、あらゆるサービスの省力化、効率化を実現。また車検整備の2ストールは、検査ラインと同様に通り抜けとし、中・小型トラックについては4柱リフトで前後2台同時に整備を可能としています。これにより入庫台数の多い中・小型車両のスムーズな点検・整備作業が可能になると同時に、工場全体を反時計回りの一方通行とすることで、入庫から出庫までの安全性向上が図られています。

さらにフロアリフトの2ストールは地下ピットを連結して広いスペースをとり、ピット内での作業にも余裕のある高さとして、クイックサービスからミッションなどの重整備も可能としています。



4柱キャタピラツインIIを2基。4台まで同時整備が可能な「タンデムレーン」。



通り抜けの検査ライン。エイミングスペースも確保。



2分割フロアリフトを2ストールに。クイックサービスから重整備まで対応。



ピットは一体化して広さ、高さともに余裕のスペース。



ピット内もエアコン完備。転落防止のピットカバーも設備。



2柱キャタピラツインIIを2基。効率的なサービスを実現。



全てのストールにエアコンを完備。安全で快適なサービス環境に。



天井クレーンは一般・重整備の4ストールをカバー。

## お客様の快適環境づくりにも配慮

一方、大型車整備では今後必須となるエイミングに対応できるように、検査ラインの前方に広いスペースを取り、また将来的にはトータルエイミングも考慮したアライメント対応も可能とされています。

作業環境面では全ストール、さらにピット内にもエアコンを完備し、四季を通じて快適な作業環境を実現。またフロアリフトにはセーフティピットカバーや高所作業時の転落防止装置も設備するなどメカニックの安全対策も万全です。

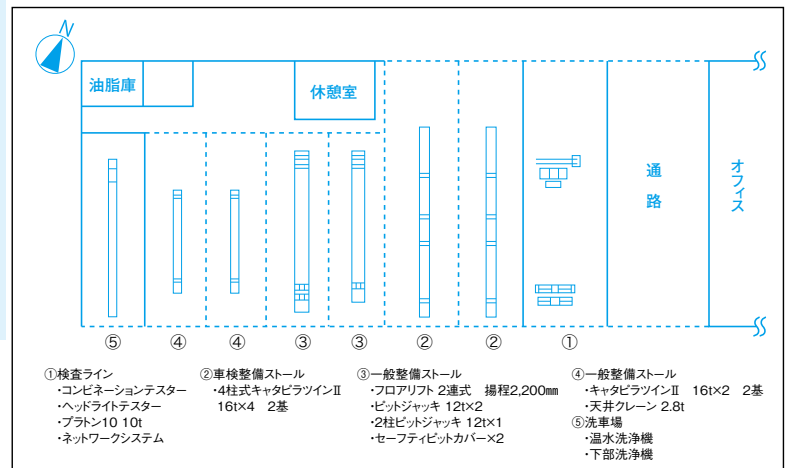
お客様にサービスをお待ちいただく待合室にも女性ドライバー専用の部屋を設けるなど、快適な店舗環境にも配慮。「よりユーザーに近く、足を運びやすい拠点が完成」したことにより、さらに販売・サービス両面での効果に期待されています。



洗車場はステンレス鋼板を張り、明るく清潔な環境に。



下部洗浄機も設備。洗車作業の労力軽減、効率化を実現。



# 特殊車両整備に「人」の働く環境づくり 画期的な「テント構造」の新工場を完成

道路維持車両、除雪車両などの大型・特殊車両を主体に整備を手掛ける、山梨県の株式会社キムラでは昨年、本社・整備工場の近隣に第2・第3工場を新たに完成、ユニークなテント構造の建屋に最新省力化、効率化機器を導入し、将来的なニーズに対応するサービス体制を実現しました。



道路側に大型車の第2、奥側に中・小型車の第3工場を配置。



第2工場は大型車4ストール、各種特殊車両の整備に対応。



第3工場はオーバースライダーシャッターを採用、屋根は二重構造で断熱性も確保。

## 工場にも最適なテント構造を採用

甲府盆地のほぼ中央部、甲府市国母に本社・整備工場を置く同社では、官公庁、地方自治体やNEXCOなどを主要顧客として、除雪車両、道路維持車両、建設機械、鉄道関連車両などの特殊車両の整備を主体に架装から整備、修理まで幅広いサービスを手掛けています。

新たに完成した新工場は国道20号線、中央自動車道甲府昭和ICに直近の約1,000坪の敷地に建設され、大型車整備の第2工場、中・小型車整備の第3工場の2棟を併設しています。今回の新工場計画については、今後見込まれる特殊車両のニーズに対応するサービス体制の拡充と作業環境改善の両面から検討され、「工期的にも短縮でき、建設コスト面でも有利で、しかも耐久性にも優れたテント構造を採用しました」と代表取締役社長の木村高人氏、従来整備工場では難しいとされていた各種の規制もクリアし、今回画期的な新工場を実現しました。

## 効率化・安全性に最新設備を導入

第2工場・第3工場は建築面積それぞれ約410平方メートルと約360平方メートルのテント構造。第2工場は大型車整備4ストールに2柱式のキャタピラツインII、1柱リフトのプラトン10を各1基導入。また全てのストールで架装作業が行えるよう天井クレーンを装備し、併せてクレーンの移動に支障のないように自立型マルチリール取付架台を設置し、各種リールを取り付けています。第3工場には小型車整備5ストールに検査ラインを併設。タンデムリフト1基、イーグルNXリフト2基を設備し、多様な車種の幅広いサービスに対応しています。「以前は車両の下に入って行っていた作業も、リフトアップして楽な姿勢で作業できる。やはり効率化と同時に安全、安心がこれからは必須です」と木村社長、環境改善とともに福利厚生面も含め社員の働く環境づくりに取り組まれています。



会長  
木村 勝利氏



代表取締役社長  
木村 高人氏



取締役副社長  
大柴 弘氏

## 「人と技術」で付加価値整備に特化

同社では顧客の大部分を法人等が占め、特殊車両の整備で独自性を発揮できることが強みです。「当社は車検台数はむしろ少ないほうです」と取締役副社長の大柴弘氏。「競争の激しい分野より、技術力が生かせる付加価値の高い仕事に重点を置く」ことが同社の方向性とのこと。油圧、電気、



キャタピラツインIIで作業の効率化と安全性向上を実現。



春以降の繁忙期へ向けてサービス体制を強化。



天井クレーンは全てのストールをカバー。



各種リールは自立型マルチリール取付架台に設置。リフト制御盤も内蔵。



1柱リフト、プラトン10は各種点検整備、クイックサービスにも対応。



独自の技術でトンネル清掃車などの特殊機械も製作。

マルチキューブエアコンで快適な作業空間に。



女性用トイレも完備。

溶接など幅広い技術・資格の取得も不可欠となるため、社内研修や架装機器メーカーの協力による研修を実施するなど技術教育、人材の育成に力を入れています。

同社では労働時間の短縮や女性管理職の登用など、さまざまな業務改革を推進する一方、健康面の各種課題改善に取り組み、その成果として経産省および県の「健康経営優良企業」として今年で4年連続となる認定を受けています。木村会長、木村社長をリーダーとする「働き方改革」の中で、「自分から率先して頭を切り替えることで社内も変わってきました」と大柴取締役副社長。現在ではほぼ残業もなく時間内に業務を終えられるようになり、「その中でいかに業績を上げていくか、が今後の課題です」とのこと。社員構成も現在では30～40代前半の社員が主力となっており、新工場の完成にもなっており顧客サービスの向上と地域社会への貢献へ、さらなるチャレンジを続けています。



検査ラインには各種大型車用検査機器を設備。多様な車種の検査に対応。



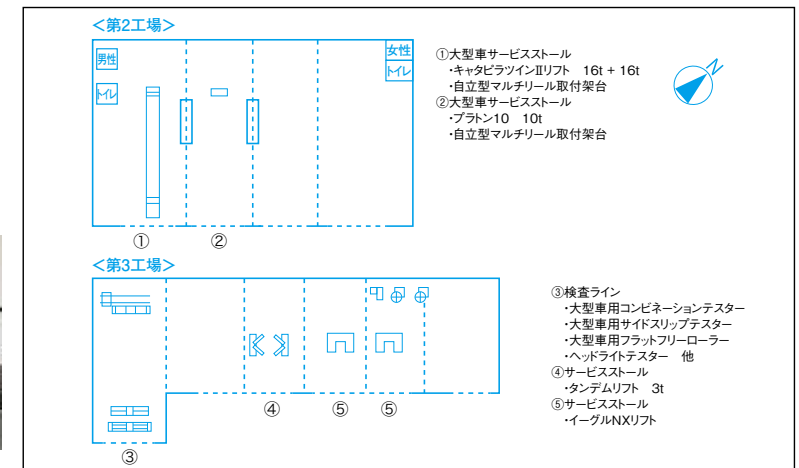
タンデムリフトとイーグルNXリフトで幅広いサービスに対応。



照明とテント素材の透過光も寄与して明るい作業環境に。



ストールごとにマルチキューブエアコンを設備。



# SHOW ROOM

## 【リンク式ドライブオンリフト】ワークステージX 3.2t仕様 WSX-F230/WSX-F231/WSX-N230/WSX-N231シリーズ

能力が3tから3.2tにアップして新登場!  
使用目的に合わせて全24種類のラインナップをご用意

### ■ 整備用ワークステージX 3.2t

●ドライブオンからフリーホイールまでクイック整備に大活躍

#### 【Fタイプ】

メインリフトが上昇するとすぐにフラットキットが作動!  
リフトが低い位置で行うタイヤ交換時に足元がフラット。

#### 【Zタイプ】

リフト最下位置では、アーム部・受金部を含めて  
床面が完全フラットになります。

#### 【FWタイプ】

スライドテーブルの拡張幅が広い(MAX2m) 為、ロングホイールベース車両のフリーホイール作業も余裕!  
別売のTAL100を併用することで、アームの受金を使用することができるので、フレーム車のフリーホイール作業も可能になります。

※一部車両はリフトアップできない場合があります。

### ■ アライメント仕様ワークステージX 3.2t

●左右1mm以内、前後対角2mm以内の  
高精度なランウェイレベルを確保

#### 【ターニング部カバー】

従来の鉄製カバーから軽量の樹脂ターニングカバーに変更。  
長さを1種類に統一し、ターンテーブル設置位置調整を簡略化。

#### 【自在型スリッププレート】

高精度なホイールアライメント測定・調整に対応。

#### 【アライメントレベルスタンド収納フック】

薄型化によるピットへの干渉を防止。

### ■ 旧モデルと同等の場合は

ピットの改修を行うことなく3.2t仕様に更新可能!

※一部ピットの改修が必要となるモデルがあります。

### ■ 仕様 (24種類すべての仕様はカタログを参照ください。)

型 式	WSX-F230AZG	CSN-4AX-G
仕様詳細 (PU= 油圧ユニット)	アライメント / アーム付リフト / PU 内蔵	アーム付リフト / PU 別置
対象車種	軽～普通乗用車・小型トラック (ロング除く)	
能 力 (kg)	3,200/3,200	
揚 程 (mm)	1,650/350	
プレート寸法 (mm)	ドライブオン	4,100 (L) × 620 (W)
	フリーホイール	1,330 ~ 2,000 (L) × 620 (W)
スイングアーム	有	
本体寸法	4,320 (L) × 2,410 (W) × 580 (H)	4,320 (L) × 2,410 (W) × 290 (H)
駆動方式 / 作動油 / 使用油量 (ℓ)	電動油圧式 / ISO VG32 耐摩耗性油圧作動油 / 30 (タンク 18、シリンダ他 12)	
電源 (V、kW) / エア (MPa)	AC200V 三相 2.2/0.7 ~ 1.0	
安全装置	サイレントメカニカルロック (ラック&爪方式)、ヒューズ弁、過負荷防止、油圧異常検出	
本体重量 (kg)	4,300	2,900



WSX-N230Z



WSX-F230AZシリーズ

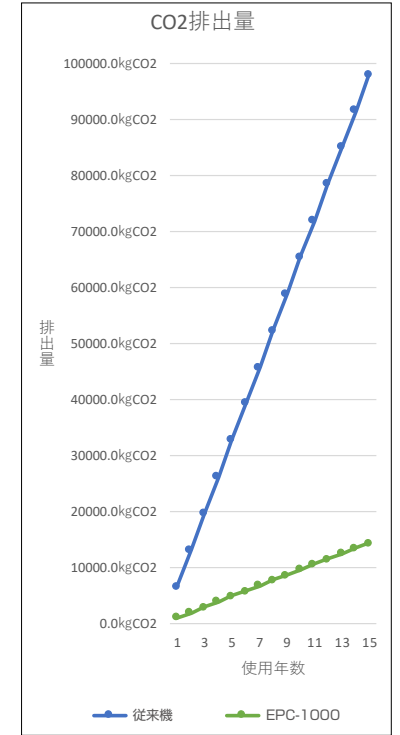
※写真のスクロールカーテンおよびLED照明はオプションです。

# SHOW ROOM

## 【高圧温水洗浄機】エレクトリックパワークリーン EPC-1000

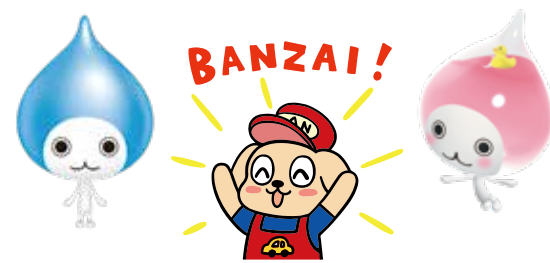
エコキュートと接続することで  
ボイラー非搭載の環境に配慮した高圧温水洗浄機

- ボイラータイプの高圧温水洗浄機と比較し、給油する手間とランニングコストを削減できます。
- ボイラーを使用しないためCO<sub>2</sub>排出量を約85%軽減します。
- モーターストップ機能付きで電力使用量も低減します。
- 洗車を多く行う場合、エコキュートを連結設置することで、高頻度の使用にも対応可能です。



### ■仕様

型 式	EPC-1000
吐出圧力 (MPa)	9
吐 出 量 (L/h)	1,000
吐出温度 (°C)	常温 ~ 75
電 源 (V、kW)	洗浄機モーター: 三相 200、2.2 エコキュート(ヒートポンプ): 単相 200、1.1
給 水 量 (L/h)	1,440(24L/min) 以上
タンク容量 (L)	470(エコキュート 460L+シスターン 10L)
消費電力 (kW)	夏期: 3.22/中間期: 3.7/冬期: 3.79
本体寸法 (mm)	洗浄機: W825× D655× H1,044 エコキュート(タンク): W630× D730× H2,175 エコキュート(ヒートポンプ): W899× D300× H735





# SHOW ROOM

## 【ラインレーザー装置】センターサポートナビクロス CSN-4AX-R・CSN-4AX-G

### エイミング作業時の省力化ツール“クロスラインレーザー機能搭載”

- エイミングで使用する水系の代わりに使用することが可能。  
車両最低地上高90mm。
- 使用目的に応じて、前後のみ照射、  
前後左右4方向照射の切替が可能。
- レーザー自動垂直補正機能搭載。
- カバー兼用専用ミラー標準付属。

#### ■仕様

型 式		CSN-4AX-R	CSN-4AX-G
本 体	寸 法 (mm)	W150× D106× H67 (D: スイッチ除くとD100)	
	素 材	ABS樹脂	
	ス イ ッ チ	OFF/前後 2本 ON/クロス 4本 ON	
	電 源	単三電池 4本	
	赤 LED電源ランプ	・スイッチ ONで点灯 ・電池残量が少なくなると点滅	
	レ ー ザ ー 色	赤	緑
	レ ー ザ ー ク ラ ス	クラス 2	
自動補正範囲(°)	±3		
専用ミラー	寸 法 (mm)	W130× D112× H65	
	素 材	ABS樹脂	



CSN-4AX-G、前後左右4方向照射時

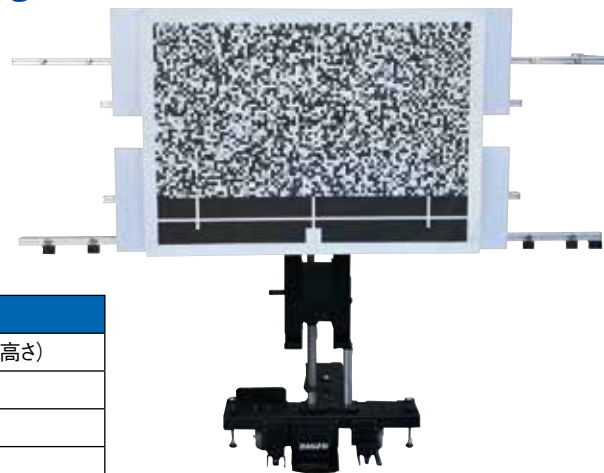
## 【エイミングターゲット設置装置】マルチエイミングボードII CSN-MAB2-3A

### ターゲットの設置が一人でも短時間で出来る!

- 対象車:国産乗用車、小型トラック、  
中大型車<トラック、バス>
- 従来機(CSN-MAB-3A)機能はそのままに、  
ターゲットボード及びボード取付用アルミフレームを  
分割できる構造にしたことで、乗用車から大型車まで  
幅広く対応

#### ■仕様

型 式	CSN-MAB2-3A
本 体 寸 法 (mm)	814× 807× 2,361(最大高さ)
重 量 (kg)	約 70
ターゲット貼付けボード大きさ (mm)	500× 400 6枚
ターゲット貼付け可能高さ範囲 (mm)	140~ 1,860
移動用キャスター材質	ウレタン
転倒抑止キャスター(mm)	合成ゴム
レベリングボルト パッド部	ナイロン



エルフ用ターゲット取付例

# SHOW ROOM

## 【二輪自動車計測機能対応】二輪自動車計測キット HT-OP-MC-519/538/542

### HT-519/538/542シリーズ対応オプション!

- 二輪自動車の前照灯光度、照射方向の計測が可能。
- 二輪自動車の走行灯及びすれ違い灯前照灯の計測が可能。  
すれ違い灯前照灯の計測は、「1灯式」「2灯式」における、  
「エルボー点あり」「エルボー点なし」の4モードに対応。

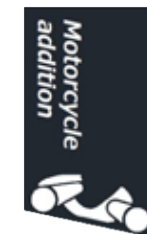
※B-80ネットワーク仕様は対応できません。  
※既設機器への改造対応は非対応となり、「二輪自動車計測キット」を含んだ新規出荷のみ  
対応となります。

#### ■仕様

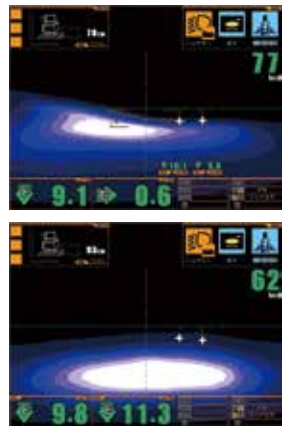
型 式		HT-519	HT-538	HT-542
適合性試験型式		HT-538		
型式試験番号		JASEA-H-45		
類 別		B-MC		
測定方式		画像自視方式(C-MOSカメラ)		
測定距離(m)		1		
使用 範囲	光度(hcd)	走行灯: 30~ 1,200 すれ違い灯: 30~ 1,200		
		照射方向 (cm/10m)	走行灯	上下照射方向: 上 15~下 35 左右照射方向: 左 30~右 30
	すれ違い灯		上下照射方向: 上 10~下 35 左右照射方向: 左 30~右 30	
	高さ表示(cm)	25~ 120(前部霧灯取付高さ対応)		
	電 源 (V)	AC100		
本体寸法(mm)		W853× D699× H1,508(HT-5381の例)		
重 量 (kg)		約 55	約 86	約 62
標準付属品		耐熱副灯カバー、専用受光部カバー、電源 ケーブル(15m)		
オプション		正対レーザー、横移動補助ステップ、SD出力、 支柱カバー、車両誘導装置		



HT-519



二輪自動車計測対応  
確認用二輪シール



## 【排気ガステスターオパシメータ兼用スタンド】CH-OP-ST

### 排気ガステスターとオパシメータ両方を収納する兼用スタンド

- 排気ガステスター、オパシメータ兼用スタンドで  
省スペース化を実現。
- キャスター付きで、移動も楽々。
- フックの追加によりプローブやケーブルの収納が可能。

#### ■仕様

型 式	CH-OP-ST
天板許容荷重(kg)	10
中板許容荷重(kg)	5
底板許容荷重(kg)	15
寸 法 (mm)	W644× D498× H960
※フック含む	
本 体 重 量 (kg)	約 28
塗 装 色	本体: 黒色
	天板、中板、底板: RAL7016(グレー)



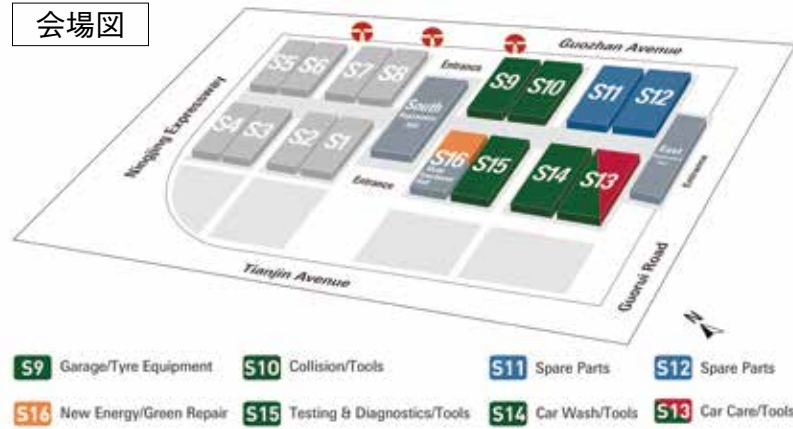
【設置イメージ】  
MEXA-324M  
+  
MEXA-600SW



【設置イメージ】  
MEXA-324M  
+  
GSM-210R

# 自動車アフターマーケットの国際展示会 AMR 2024 (天津)に サービスのトレンドを探る

## 会場図



会場入口で、バンザイ視察チーム。

中国における自動車アフターマーケットの総合展示会として、例年北京で開催されているAMR(AUTO MAINTENANCE & REPAIR)が、昨年に続き天津のコンベンションセンター「国家会展中心」で開催されました。新型コロナ5類移行後初の国際展示会として、バンザイでは営業部浅野次長をはじめ6名の視察チームを派遣、最新のサービス機器の動向を視察しました。

## 広大なスペースに幅広い関連分野を網羅

AMR 2024は3月20日から23日まで開催、会場の「国家会展中心(天津)」は総展示面積400,000平方メートル、展示ホール数32という世界でも最大級の展示会場です。AMR 2024ではS9からS16までの8ホールに自動車診断・修理、車体整備・塗装、洗車、パーツなど自動車アフターマーケット関連分野を網羅する展示ブースが設けられ、各国から多数の来場者を集めていました。

展示会場は各1ホールが東京ビッグサイトの東1ホールの約1.5倍という広さ。今回の視察では「修理/タイヤ」をテーマとするS9ホールおよび、「板金/工具」をテーマとするS10ホールを中心に視察を行いました。



リフトメーカー、ラバリオリのブース。



出展メーカーから新製品の説明を受ける。



バイスバースはアライメントテスターなどを展示。



BMW認定の門型リフト。角度が変えられるオプションアーム仕様。

## 足回り、EV機器に需要の高さを実感

S9ホールでは、リフトと足回り機器を中心とした「修理/タイヤ」機器を展示。バイスバース、ラバリオリ、コルギー、マハなど世界的メーカーも含めてタイヤチェンジャー、ホイールバランス、アライメントテスターなどが多数出展されていました。とくにバイスバースのブースではBMW認定の門型リフトやアライメントテスターなど注目の製品も多数見られました。

S10ホールでは、「板金/工具」をテーマにスプレーガン・塗装ブース・電動リベット、溶接機といった板金工具および、移動式リフト・エンジンリフター等が多数出展されていました。リフトでは3.5t、4.0t、4.5t、5.0t能力のものが多数を占め、EV用バッテリーリフターでは電動式でスライドテーブルが前後左右に傾斜できるものも多く見られました。その他の展示ホールでもタイヤチェンジャー、ホイールバランス、アライメントテスター、リフトなどが展示されており、足回り整備の需要が高いことが実感されました。



日系企業ではアネスト岩田が唯一10トン能力の2柱リフト。出展。



エンジンリフター、バッテリーリフターも多数出展。

## 電動化、キャッシュレス先進国、中国を体感

今回の視察では天津市、北京市内の見学・視察も実施。電車、バス、ライドシェアを利用した移動や、コンビニでの買い物などの支払いにはすべてAlipay(アリペイ/支付宝)を使用し、中国の電子決済を体感しました。いずれの市街地でも一般車両、バス、バイクともにBEVの比率が高く、電動化が非常に進んでいることがうかがえました。

今回の視察ではサービスの世界的トレンドを探り、併せて中国の交通や国情などの一端に触れました。バンザイでは今回の視察を含め、最新情報を今後の製品開発に活かし、アフターマーケットへ情報発信してまいります。



北京の銀座といわれる「王府井」。中央はアップルショップ。



ファーウェイのショールームではBEVも販売。

## 編集後記



春になると、桜も咲き、通勤途中で見かけるのは真新しいスーツ姿の方々。やはりこの時期は自分自身も初心に戻ります。私たちを取り巻く環境や働き方もだいぶ変わりました。自由化や効率化の波は留まることを知らず、今まで人間が行っていた仕事を機械やコンピューターに担っていく未来はそう遠くなく、そしてそれは自動車整備業界にも起こりうる事で、先日参加した展示会でも

それは充分感じ取ることができました。我々人間は、最終的にその変化に向き合いつつ担い手にならなければなりません。変化だけが暴走しては非常に危険です。どんな世の中にあっても、最終的には必ず人が介在して欲しいなと私は望みます。今までもそうだったようにこれからも様々な事が人の思いやりによって紡いで行かれますように願います。

<大友>